

歯科・歯科口腔外科紹介

— 最近の話題 —

歯科・歯科口腔外科 部長 栢原 浩彰



歯科口腔外科では、あらゆる口腔疾患に対応できるように配慮しています。総合病院の特性を生かし、他科の先生方の協力のもとハイリスクな方々への歯科医療に対し、安全かつ迅速に診療を行っています。また、愛媛大学医学部口腔顎顔面外科と病病連携し、より質の高い医療を効率的に提供する体制を整えています。

当科の診療は、う歯や歯周病などの一般歯科診療に加えて、口腔外科領域では智歯（親知らず）の抜歯や顎顔面外傷の処置、歯性感染による急性炎症の治療、唾液腺疾患、口腔乾燥症、扁平苔癬や白板症などの口腔粘膜疾患が挙げられます。最近では、『顎が痛い、口が開かない』などの症状を呈する顎関節症の症例が増加しています。顎骨骨折、顎骨内腫瘍性病変、重度の歯性感染症など、疾患によっては当然ながら入院治療が必要となります。また、各病棟からの依頼により口腔ケアにも取り組み、誤嚥性肺炎の減少、QOL改善を目的として、往診にて定期的に口腔ケアを実施しています。

スタッフは、歯科医師2名、歯科衛生士4名、歯科技工師1名で日々の診療に従事しています。事務系スタッフが在籍していませんので、受付業務やレセプト業務も全て当科スタッフで行っており、ご迷惑をおかけすることもあります。ご指導の程よろしくお願致します。

歯科口腔外科では患者様サービスの充実を図るために、医療保険の枠にとられない自由診療も行っています。自由診療では、疾病や苦痛を除く対症療法だけでなく、美しさや快適さを求める個人の質的事項にも対応でき、個々のニーズに

応じた技術やサービスの提供を可能にします。今回は、当科で主に行っている自由診療について説明します。

インプラント



インプラントとは、欠損した歯の代わりに顎の骨に人工歯根を埋め込み、その上に人工の歯を取り付ける治療方法です。インプラントの歴史は古く、紀元前とされています。中南米のホンジュラスで発見された下顎の骨には、貝殻で作られた歯が埋め込まれていました。

近代では鉄、サファイヤ、アルミニウム、ステンレス、金など試されましたが、どれも長期的に機能する歯はつい最近まで存在しませんでした。それはインプラントと骨がしっかり結合しなかったからです。1952年スウェーデンのブローネマルク博士（医学歯学者）が、チタンと骨が拒絶反応を起こさず結合するオッセオインテグレーションを偶然発見し、1965年より本格的にチタン製インプラントの臨床応用が始まりました。現在、世界では100社以上のメーカーがインプラントを生産していますが、当院では世界で初めて製品展開した「ブローネマルクシステム」の販売以来トップシェアを続ける、ノーベルバイオケアのインプラントを導入しています。

最近では、しばしばインプラント医療事故が報道されていますが、当院ではインプラント埋入前に必ずCTを撮影して解剖学的骨形態を把握し、細心の注意をもって手術室で埋入術を行っています。

インプラントの埋め込みにより、義歯が合わない方や外傷で歯牙を喪失した患者様を中心に、より自然に近い咬み心地と美しい歯を手に入れることが可能になります。もちろん、保険適応で治療できるブリッジのように健康な歯を削る必要はないのです。

オールセラミッククラウン



オールセラミッククラウンは、セラミックだけでできた被せ物です。金属を全く使わないため、天然の歯に近い透明感のある仕上がりになり、変色もなく見た目の気になる前歯に適しています。金属アレルギーをお持ちの方でも安心して治療を受けることができます。自由診療の中では、金属の内冠にセラミックを焼き付けるメタルボンドクラウンがロングセラーではありますが、今後はより美しいオールセラミッククラウンが白い歯の主流になると考えられます。

ノンクラスプデンチャー（入れ歯）

従来の部分義歯は、クラスプという金属製のバネを隣接する歯に掛けて安定させる構造になっています。そのため、金属製のバネが見えるため見た目によくありません。ノンクラスプデンチャーは金属製のバネの代わりにプラスチック製の義歯床で義歯を支えますので、審美的に大変優れています。

金属床義歯（入れ歯）

金属床義歯はプラスチックの義歯より薄く作製できますので、発音もしやすく、熱伝導が優れていますので食べ物本来の味が楽しめます。また、プラスチックの義歯よりたわみがないため、残存する歯も安定する利点があります。

美しい歯は魅力的です

以上、歯科自由診療について簡単に説明しましたが、これらは全て高価なものであり、デメリットもあります。インフォームドコンセントが重要視される時代ですが、これらの医療提供にはリスク、費用、その効果も患者様が選択するインフォームドチョイスのスタンスでカウンセリングを行っています。興味がございましたら気軽に声をお掛けください。

